



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 7. 4 (月)
No. 12
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成
～「生きる力=どうにかする力」を育む教育活動を通して～

「合志川橋」架設完了を記念して3年生が絵を描きました！

6月28日(火)に3年生が、完成間近の「合志川橋」に絵を描きました。合志川橋を建設されている株式会社日本ピーエスさんと緒方建設さんから、4月にお話をいただき、今回実現しました。3年生は、クラスごとにどんな絵を描くか計画をし、橋の舗装される部分にペンキで思いっきり絵を描きました。空いている所には、自分の名前を書いたり、好きな言葉を書いたりして、自由に表現しました。

子どもたちが熱中症にならないように、一人一人にお茶を用意していただいたり、テントや冷却用のスプリンクラーを用意していただいていた。子どもたちが描いた絵は、上から舗装されてしまうと見られなくはなりますが、いい記念になったと思います。



5年生が「集団宿泊」に行ってきました！

6月28日(火)～29日(水)の1泊2日の日程で、5年生が菊池少年自然の家へ集団宿泊に行ってきました。集団宿泊は、自然体験を通して豊かな心を育てるとともに、5分前行動や班で協力して活動することで集団行動の基礎を身に付けることなどを目的としています。また、2日目は泗水東小、泗水西小の5年生との交流も行いました。

昨年度は、新型コロナ対策で日帰りの活動になりましたが、今年度は、感染対策をしながら宿泊を行いました。この2日間の体験を通して、5年生はたくましく成長してくれたことと思います。これからの学校生活の中で、上級生としての責任を持ち、リーダーシップを発揮してくれることに期待しています。



夜の「ナイトゲーム」出発前の様子(他学年の先生方も活動の応援にかけつけてくださいました)

☆校長室から独り言10☆

人の心のやさしさ、あたたかさを学んだ高校時代の思い出～校内人権旬間によせて～

「いろんな人と話してなかまをふやそう」をテーマに、7月15日(金)まで泗水小校内人権旬間を実施しています。人権学習や人権集会などの取組を通して、いじめや差別をなくすなかまづくりを行います。

私が高校時代にこんなことがありました。クラスの中に、昼食をいつも一人で食べている友達がありました。その友達は私と同じ中学校出身で、おとなしい子でした。私は、仲のいい友達と集まって、わいわい話しながら毎日食べていました。ある日、その中の一人の友達が「工藤は〇〇と同じ中学校出身だろう。こっちで一緒に食べよう」と声をかけたら、「〇〇とはしゃべったこともないし、俺たちとは話が合わないよ。嫌がると思うよ。」と私は声をかけませんでした。「一人で食べて楽しいはずはないよ。俺が声をかけてくる。」友達はこっちで一緒に食べようと話していましたが、断られているようでした。最後は、三人の友達が近づいて行き、弁当を取り上げ、机といすを運び始めました。

その日から、その友達は私たちのグループで昼食をとるようになり、いつの間にか私も含めてとても仲良くなりました。しかし、同じ中学校出身なのに声をかけなかった自分に、ずっと後ろめたい気持ちが残っていました。弁当を取り上げてなかまに入れた友達3人は、泗水出身です。3人の行動は強引だったとは思いますが、友達を思う心のやさしさ、あたたかさを私は学んだように思いました。泗水小に勤務するようになって、このときの出来事がすぐに浮かんできましたし、こんな行動ができる泗水っ子を育てたいと思います。